

風景保存と国立公園協會

林學博士
ドクトル
本多 靜六

〔この論文は昭和五年四月一日発行の
『實際園藝（第八卷第四号）に掲載されたものです。〕

東京帝国大学名誉教授・本多静六博士（慶応二年―昭和二十七年）は、我が園林学の先駆者であるだけでなく、造園学の創始者であり、社会的リーダーでもあった。

日比谷公園の設計をはじめ、全国各地の自然公園計画・風景計画を手がけ、我が国の国立公園創設活動を精力的に進めた。当時、大学から内務省に移り、国立公園制度の実現の

ために活躍した田村剛博士の恩師であり、その後ろ盾として、あるいは共闘者として、政界を呑む世論を動かした。

昭和四年に国立公園協会を設立。初代会長は細川護立侯爵。副会長の本多博士は、優れた自然の風景地は、これを産業開発するのでなく、学術、心身の健康、観光、国際交流等、計り知れない効用のために保護し活用すべしとの持論

我が國の風光

我國の歐米旅行者が久し振りに歸朝し、祖國の風物に接して眞先に強く感ずる事は、我國の山水が草木に覆はれて青に緑に誠に秀麗であること云ふ事である。

元來我國は火山性の山岳國であり、其氣候も溫暖多濕で植物の生長に適する。従つて火山又は火山岩特有の千姿萬容の風景を有する。又河川の流れが急である結果、激しい侵蝕作用によつて溪谷や瀑布が各所に見られるために、日本の風景は非常に變化に富んでいて麗しい。靈峯富嶽の世界に著名なる事は云わ

ずがな、かの火山型の風景として最も優秀なものであるところの日光は、山岳、湖水、高原、森林、溪流、瀑布等あらゆる風景要素を具へ、而もその何れもが秀抜なものばかり

で、外來漫遊客の第一に杖を曳くところである。近年著しい登山者を惹きつけてゐる上高地は、その森林と溪流の麗はしい點で、憚りなく世界無比と云ふ事が出来る。又神秘的な十和田湖の美は、かの世界的に有名な北米合衆國のクレター・レーキをも凌ぐものであり、

其他阿蘇山、雲仙岳、霧島山等は何れも世界的風景と稱してよいものである。實際私が世界六大洲を視察せる結果、日本

を協力に展開し続けたのである。

本資料は、安田達行・新宿御苑管理事務所長の提供による。当協会としても改めて玩味していいと思う。（文中、国立公園協会成立が昭和三年とあるのは、その前年が発起人会であるので、事実上の活動のことを意味しているものと思われる。）
（日下部）

は多くの天然資源に於て外國に及ばないものが多いが、獨り天然の山水風景に至つては、規模の大ききこそ歐米には及ばざるものがあるが、其景に變化の多い事、濕ひがあつて手頃の大きで親み易き點等天然公園として最も都合よく恵まれた事は確かに世界第一であること斷言して敢えて憚らざるものである。論より證據世界の漫遊客が擧つて我國の風光を賞揚し、「日本は世界の公園である」と稱するものも、決して不當の讚辭ではないのである。

景勝地の利用

ところが近年、林業、鑛業、水力電氣事業

其他の産業が非常に盛んになり、到る所の麗はしい原始的な風景地に迄其手を延ばす様になつた。例へば十和田湖や中禪寺湖の水を切り下げ灌漑用水や水力電氣に利用する計畫、或は黒部溪谷に一大堰堤を築いて水力電氣を起さうとする計画の如きはそれである。斯かる計畫が自然を傷け、風景を破壊するものである事は勿論である。

一體原始的狀態を有する或區域を限つて、之を絶対に保存する事は、動植物學、地質學、林學其他の學術研究上極めて必要な事である。合衆國、瑞西、獨逸等に於ては夙に法律を以てかゝる保存區域を設定してゐる。

又それが偉大な風景地である場合には、之を保護利用する事によつて、莫大な經濟的利益を擧げ得るものである。かかる天然資源を適當に利用開發する時は、産業的に利用する場合よりも、遙かに多くの價値を生ずるものである。例へば北米合衆國ではナイアガラ瀑布の大部分を州立公園として保留し、之を水力電氣事業に利用せしめない事にしてゐるが、この水量を電力に使用したと假定して、その經濟的價値は年々千五百萬弗であるのに、この風景をそのまま遊覽地として利用すれば、為に多數の遊覽客を誘致する事が出来て地方が受ける經濟上の利益は年々三四千萬弗となり、水力としての利用よりも遙かに割がよいと云ふ事である。

米國では旅行者が頗る多いので、各地方は夫々風景を呼び物にして他州の人々や外

誘致するに努め、商業會議所あたりが中心となつて盛んな宣傳をしてゐる。これも尤もな事で、事實メーン州では夏の休暇中だけで他州よりの旅行者が年に一億弗を消費するとの事である。又ニューハンプシャー州では旅客營業が農業に次いで生産額を示すとの事であるが、其風景地ホワイト・マウンテンは年百萬人の旅客を迎へるので、他の如何なる産業によつて土地を開發するよりも、其風景資源を利用するのが最も有利であると云ふ事になつた。

又加奈陀政府に於ては、そのロッキーマンの風景地を開發する為には、カナデアアンパシフィック鐵道會社と協力して、ロッキーマン山地方に數箇所の國立公園を設立したが、其結果今日では出入外人年五萬人に及ぶに至つた。同國の風景利用による外客總収入は全産業中第三位を占め、ツーリスト事業は同國經濟上重要なものとなつてゐる。

又瑞西はその山水風景の明媚を以て有名であるが、元來瑞西は氣候寒冷なる為、僅かに牧畜と林業とが行われてゐる位で、他に何等の産業的生産物がないので、政府はこの明媚な風景を積極的に利用する事を考へ種々の遊覽的設備を施し、盛んに外客を招いた為、現在では一ヶ年の來遊客二百萬人以上に達し、其収益實に三億萬圓と稱せられ、歐洲中富國の一に算えらるゝに至つた。

然るに我國では風景の利用未だ徹底せず、外人觀光客の如きも年三萬人に滿たずその消

費額も五千萬圓餘に過ぎない。之は世界に類の無い風景國でありながら、全く寶の持ち腐れである。若し將來適當な遊覽的施設を行ひ、積極的に風景を利用開發するならば、更に多くの外客を誘致する事が出来、その収益も少なくとも現在の數倍に高める事が出来、延ては國際貸借改善上多大の影響を及ぼす事が出来るものである。

景勝地の保存

更に又風景地は間接的に國民の健康上著しき貢獻をなすものである。思ふに現代は獨立自強、延て健康第一主義の時代である。何事も他人に頼る事なく、自分自身の力で自己の進むべき途を開拓して行かねばならない時代である。それには頑丈なる身體、偉大なる健康が何よりの資産である。財産、學問、名譽等の如きものは第二義、第三義のものである。即ち健康第一主義こそ今日の世界文化の大勢である。この健康第一主義の實現の爲には「絶えず新鮮なる空氣を呼吸し」「十分日光に浴し」「運動をして食物を甘く食ふ」と云う三點より外にはない。然るに現代に於ける吾々の日常生活はどうであるか。現代の様に機械文明が極度に発達して行く結果は、國民の大多數が都會生活を營む様になり、自然に接する機会が次第に失はれ、屋内で過す事が多くなつた。甚だしきは終日電燈の下で仕事をする者さえ少なくない。即ち健康保持の三大要件たる空氣と日光と運動とに縁の遠い生

活を營む様になつた。従て文明病と云はれ、神經衰弱又は呼吸器病に罹る者が逐年著しく激増しつゝ、ある事は統計の示すところである。それ故に彼等が空氣と日光と運動とに憧れ、す暇を利用して自然に親しまうとする欲望は非常なものである。近年スポーツ、登山、野營、或は風景地探勝等の野外生活が急に盛んになつて來たのは全くかゝる欲望に基くものである。又すべてが極端に機械的、人工的な都會生活は、全く人間の本性を無視した拘束の生活である。そこには只無秩序と騒音と強烈な刺激があるばかりである。吾々の魂を眞に慰めて呉れる何ものもない。されば都會生活者は折あらば原始の大風景の靈感に觸れ、浩然の氣を養はん事を切望してゐる。蓋し原始を慕ふ心は人間の本能的氣持で、文化が進めば進む程反對にこの心は強くなつて行く。即ち原始の大風景はかゝる點に於ても重要視されるべきものである。

斯くの如く、風景は何れの方面より觀るも重要な意義を有するもので、それは吾々に種々の幸福をもたらすものである。従て偉大なる風景は決して一産業の為に破壊されるべきものではなく、永久に保存して民衆の幸福増進の為に提供されるべきものである。之が保存は實に吾々人類の義務であると云ふ事が出来る。而して斯かる原始の大風景地を永久に保存し、更には之を積極的に利用開發し、以て學術研究國民教化の用に資するは勿論、國民の保健衛生上にも貢獻あらしめ、進んではお客

を誘致し國交を親密にし兼て國富を増進せしめんとするのが國立公園の目的である。

國立公園運動

かゝる國立公園の實現運動は、我國に於ては比較的最近の事である。即ち明治四十五年第二十八議會に於て日光國立公園の請願が出たのが最初である。次で第四十五議會には五箇所、第四十六議會には二十七箇所と云ふ工合に、議會毎に幾多の國立公園建議案が提出せられて何れも議會を通過してゐる。又内務省衛生局に於ても、國立公園の施設が國民保健教化上並に國民經濟上重要なものである事を認め、大正十年以來十六箇所の候補地を選定して調査を初め、既に一通りの調査を完了した。又昭和三年には特に國立公園協會なるものが成立せられ、官民合同して國立公園の實現に努める事になつた。

而してこの國立公園協會の目的使命は、從來國立公園の必要は大部分に認められるも、尚行政上に於て何等の處置がないので、此際眞に國立公園の必要を徹底に官民に知らしむる為に、雜誌の刊行、講演會、展覽會等を催し、進んでは地方關係團體との連絡協力を計り、當局を助け、實地の調査研究にも當り、尙政府としてやりにくい方面の諸事業を擔當して、以て我國國立公園の成立完成に努めんとするものである。

幸い最近に於て内務省に新たに國立公園調査會が設置され、愈々實際の計畫に着手する

事になつたので、久しく吾々の待ち望んでゐた國立公園の實現も近きにあるを信じ、喜びの情を禁じ得ないものである。

國民の協力に俟つ

併しながら、かゝる風景の保存或いは利用と云ふ様な問題は、民衆の理解があつて初めて良好なる結果を収め得るものである。例へば風景地の最も眺望の良い所に第一に俗悪な料理屋が出来たり、或は遊覽客が櫻や楓を遠慮會釋もなく手折つて一向恥づるところがなかつたり、ともかく一般民衆の風景に對する觀念が斯かる程度のものである以上は、到底斯の如き事業は成功を勝ち得る事は出来ない。却て國立公園の如き文化的施設は未だ日本人には早過ぎると云ふ様な物笑ひの種を残すばかりである。即ち先ず風景そのものに對する民衆の理解が何より必要である。又之に關聯して必要な事は我國民の外人に對する態度である。更に言を換へて云へば、公德心の涵養である。更には又、國立公園の如き民衆的施設は、一般民衆の支持を得て初めて隆盛に赴くべきものである。要するに將來に於ける國立公園事業の成功と否とは、一にかゝつて民衆の理解及支持にある。吾々は民衆の風景並に國立公園に對する根本意義の理解と、併せて其支持を衷心より望んで止まないものである。